

第26回セミナーはリモートとなりましたが、参加いただいた方々、開催にご尽力いただいた方々の努力により開催することができました。ご講演頂いた方々の言葉の中にスキーへの愛や憧れを感じ、セミナーの火を何とか絶やさずにCorona禍をやり過ごし、来年こそは菅平で開催したいという気持ちを強くすることができました。

17時より開催された、恒例の学生のためのエンカレッジセミナーは、以下の4名の報告がありました。良く準備した分かりやすい発表に対し、約1時間半にわたり白熱した質問と議論が飛び交いました。専門外の先生方からの“初歩的”と言う質問に答えながら、研究の背景や応用を議論することの重要性を痛感できたことと思います。

<前半 17:05~18:40>

#### 学生のためのエンカレッジセミナー

公立諏訪理科大学：橋元研

「電磁界解析による渦電流検査時の分析深さの検討」西澤壮平(M1)

「皮膚刺激によるステレオ音源からの音響信号の自由定位化の研究」田中駿佑(B4)

「超小型センサーによる深部体温計測技術の開発」福井翔也(B4)

信州大学：河村研

「ガラ紡による紡績糸の風合い制御を目指して」王 迦安 WANG JIAAN(M1)

<後半 19:00~22:30>

#### 講話5件

「球体衝突試験に基づく材料定数同定手法に関する研究」伊藤潔洋(公立諏訪東京理科大学)

「軟弱地盤を走るロボットの研究」藤原大佑(公立諏訪東京理科大学)

「次回予告：小松大生、雪実験の取組み」香川博之(公立小松大学)

「ジオ×トレイルランニングで四国を元気にする」石井明(元香川大学) 矢口正武(元気・まちネット)

「屋根雪問題は敷地境界のボカシで解決」阿部修(元防災科学技術研究所雪氷防災研究センター)

#### 話題提供2件

「スキーのエジングについて」仁木國雄(菅平スキー科学研究会代表)

「わかりたい なぜまがるか」(カーリングについて)河村隆(信州大)

参加者全員 1分程度スピーチ(既発表者は除く)

多くの発表が幹事による質問打ち切りで終了するという活発な会議となりました。そして菅平でアルコールの助けを借りながら、夜を徹した議論をしたいと言う結論に達しました。